

# 酪農ヘルパー情報



## 今号の目次

令和7年度会長表彰受賞者	2
令和7年度酪農ヘルパー事業優良事例発表会を開催	3
熊谷 法夫氏（全国酪農業協同組合連合会代表理事専務・獣医師）	4
小山 武志氏（学校法人滋慶学園 TCA東京ECO動物海洋専門学校キャリアセンター長）	6
田島 あゆみ氏（広島県安芸高田市 酪農家）	8
泉山 祐士氏（兵庫県神戸市 新規就農酪農家・元酪農ヘルパー）	10
酪農ヘルパー専門技術員養成（初任者・中級者）研修	12
令和7年度研修参加者の感想	12
中堅酪農ヘルパー指導力向上研修	14
就農相談イベント「新・農業人フェア」出展	15
令和8年度酪農経営安定化支援ヘルパー事業（alic事業）の拡充について	16
ホームページの活用紹介	18
ご案内	
臨時酪農ヘルパー普通傷害保険制度	20
職業認知度向上のための資材提供	20

# 令和7年度 一般社団法人酪農ヘルパー全国協会 会長表彰受賞者

令和7年度の会長表彰は、都道府県団体等から推薦のあった就業経験5年以上で優れた技術を持つ酪農ヘルパーとして13名、就業経験1年以上で新規就農をした酪農ヘルパー1名が受賞し、隈部会長より表彰状が授与されました。

隈部会長は「この表彰式は酪農ヘルパー事業の一層の推進を図るため、対象者の方々の功績をたたえ表彰するもので、皆様のご尽力と功績に敬意を表すとともに心からの感謝を申し上げます」とお祝いの言葉を述べました。

受賞者を代表して葛巻町酪農ヘルパー利用組合・細野清将さんから「長年勤めてきて楽しいことや苦勞したこともあったが、この度の受賞を励みに業務に一層励み培った技術を次代に紡いでいけるよう活動したい」と謝辞を述べました。



☆会長表彰の様子は  
こちらからご覧いただけます！



## ●技術に優れ、酪農ヘルパー就業経験5年以上の者

都府県	氏名	年齢	所属利用組合	勤続年数
北海道	泊 晃一	52	遠別酪農ヘルパー利用組合	33年
北海道	吉田 秀一	48	えんゆう酪農ヘルパー利用組合	30年
北海道	三好 久人	64	陸別町酪農ヘルパー有限責任事業組合	34年
北海道	沼澤 充弘	52	陸別町酪農ヘルパー有限責任事業組合	27年
北海道	富永 実	56	JA中春別酪農ヘルパー利用組合	31年
岩手	戸花 郁弥	30	葛巻町酪農ヘルパー利用組合	11年
岩手	細野 清将	27	葛巻町酪農ヘルパー利用組合	6年
茨城	笹沼 康幸	50	美野里酪農業協同組合	22年
栃木	長谷川 徳彰	44	栃酪酪農ヘルパー利用組合	20年
栃木	小松 正行	52	酪農とちぎ農業協同組合	11年
熊本	中山 健太郎	36	熊本県酪農ヘルパー利用組合	13年
熊本	地内 幹博	45	熊本県酪農ヘルパー利用組合	12年
大分	松永 清一郎	57	九重地区酪農ヘルパー利用組合	30年

## ●酪農ヘルパー就業経験1年以上の者であって、新規就農した者

都府県	氏名	年齢	所属利用組合	ヘルパー歴
茨城県	萩谷 舞子	27	茨城北酪農業協同組合	3年

# 令和7年度酪農ヘルパー事業優良事例発表会を開催 —就職活動や要員確保の課題などを発表—

令和7年12月4日（木）、東京都千代田区の日本教育会館で令和7年度酪農ヘルパー事業優良事例発表会を開催し、各都道府県団体や利用組合、中央団体等の関係者による参加の下、酪農ヘルパー事業における業界の動向や優秀な取り組み事例等を発表した。

酪農ヘルパー全国協会・隈部洋会長は冒頭挨拶で「令和7年の経営環境は乳価改訂など一部明るい兆しも見られたが、飼料価格や生産資材の高止まりなど依然として厳しい状況が続き、酪農家戸数も9000戸を割る懸念が強まっている。酪農ヘルパーは前年から45名減（酪農ヘルパー実態調査より）で、要員不足により出役調整に苦慮するケースも増えている」と述べ、「酪農経営を巡る経営課題の中でも酪農ヘルパーの要員確保は喫緊の課題」と訴えた。続く来賓挨拶では農林水産省畜産局企画課夏目曜課長補佐が「酪農ヘルパーを非常に重要なものとして位置づけ、様々な支援をしているが、それでも専任ヘルパーは徐々に減っている」と述べ、「酪農ヘルパーが魅力的な職業であることのPRが必要であり、そのために酪農ヘルパーや利用組合のご協力が重要」と酪農業界からの後押しを呼びかけた。

今回はこうした状況を踏まえ、家畜防疫に関する発表のほか、学生の就職動向と課題や酪農家から見た要員確保の課題について発表があった。

全国酪農業協同組合連合会代表理事専務で獣医師でもある熊谷法夫氏は「酪農ヘルパーに必要な家畜防疫」と題して、我が国における家畜防疫体制や疾病の現状や対策などを解説。熊谷氏は「しっかりと衛生管理をすれば牛は応えてくれる」「最後はやはり組織力、頼れるところはしっかり得意な人に頼ること」と衛生管理のポイントを説いた。

続いてはTCA東京ECO動物海洋専門学校で就職

を担当する小山武志キャリアセンター長から「酪農ヘルパーへの就職についての課題」と題して、最近の学生の傾向と畜産酪農業界への就職動向についてご紹介いただいた。小山氏は「学生たちはそもそも業界について知らないという現実がある」としつつ、「企業説明会等を通じてどれだけ業界の周知ができるかで可能性は十分にある」と期待を示した。



最後は7年前に新規就農を実現した広島県の田島あゆみさんから「新規就農して思うこと～酪農ヘルパーの重要性&課題～」と題してご自身の就農の経緯と日々酪農を営む中で感じる酪農ヘルパーの重要性、要員確保に向けた課題などを語っていただいた。田島さんは「酪農だけでなく私生活も大事にできているのはヘルパーさんのおかげ」と感謝を述べると同時に「酪農家にとってヘルパーは命綱」と強調し、要員不足解決のために、公的支援の活用や酪農家側からの歩み寄りによる協調などを提案した。

その後は新規就農事例として兵庫県神戸市で就農した泉山祐士さんのインタビュービデオを上映。泉山さんは動画の中で「新規就農を目指すなら是非酪農ヘルパーの経験を」とアドバイスを送った。

☆優良事例発表会の模様は  
こちらのQRコードからも  
ご覧いただけます！



## 事例発表①

# 酪農ヘルパーに必要な家畜防疫

全国酪農業協同組合連合会  
代表理事専務（獣医師） 熊谷 法夫



### 酪農ヘルパーの皆様へ感謝

今年7月、岡山県で全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されました。全日本ホルスタイン共進会も10年ぶりに北海道で非常に盛大に開催されました。酪農発表大会・共進会とも非常に良い大会だったと思っています。そういった機会に参加するためには酪農ヘルパーの協力が必要であり、その協力を得て全国大会に行くことができたということです。

### 酪農を取り巻く情勢は変化している

酪農家戸数は1985年頃は8万2千戸でしたが現在は1万戸を割り8分の1になっています。

当時は酪農家同士が支え合う互助の仕組みとなっていました。酪農家の数が減りそういう環境は難しくなっています。一方で一戸あたり頭数は1985年の25～6頭から現在は80～90頭と非常に多くなっています。そのため酪農ヘルパーに求められる技術は非常に高度化していると言えます。牛の能力も6kg/頭から今は9千～1万kg/頭と向上し、牛の能力を発揮させるためにも日頃の飼養管理で非常に繊細なケアが必要になっていいます。

ざっくり言うと農家数は5分の1となった一方で生産量は1割ぐらいいか減っていない。仲間が大きく減った中で酪農ヘルパーに対する期待は逆に高まっており、技術も非常にハイレベルなものを要求される状況です。

### 日頃の牛の観察力で牛の健康を守る

家畜防疫についてはいろいろな制度がありますが、その目的は「畜産の振興を図るため」です。家畜衛生の法律という指摘ばかりしているように思われがちですが、やはり産業があつての各種法律ということで、病気を防ぐ一方で国内の産業が発展し

ていくために取り組んでいることをご理解いただければと思います。

水際の検疫ということで日本国内への病気の侵入を防ぐ各種取り組みを行っています。酪農家あるいは生産者だけではなく一般の国民の方が国内から海外に遊びに行ったり逆に海外の方が日本に来る時、「守ってもらいたいことがある」としっかり伝えて協力してもらうことが大事です。

口蹄疫で大事なことは感染力の強さで、報告が遅れると蔓延し、生産活動に大きな影響を及ぼすということです。平成22年の時は発生報告が遅れたために結果的に約30万頭近くの牛豚を処分することになりました。そういった意味では農家一人一人ができることに加えて、水際対策、さらにまた一般の国民の方にもいろいろ理解していただく必要があります。

令和6年11月に我が国初のランピースキン病の感染を確認しました。この病気は結節（イボやしこりのようなもの）が特徴でなかなか皮膚病と見分けが付きにくい病気だったということもあって気づくのが遅れ、福岡県の一部地域で流行が広まりました。この病気のやっかいなところはサシバエを介して媒介する点で、発見は11月でしたが、畜舎内の日が当たるような温かいところからハエが発生し、吸血により次から次へと伝播していきました。

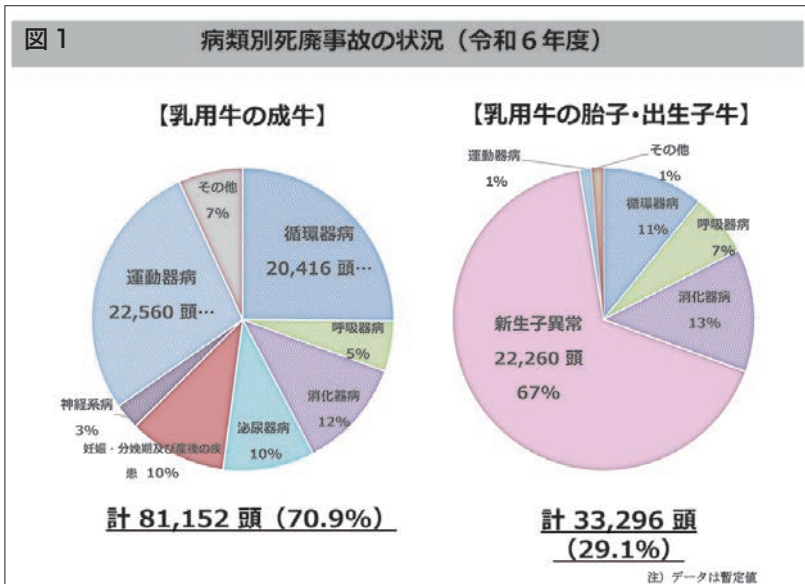
福岡県19戸、熊本県3戸、計22戸で抑えられて、昨年2月以降、新たな感染は確認されていません。

ランピースキン病は法律上は家畜伝染病ということで口蹄疫と同じランクに位置づけられています。さらに一年限りだった特例措置を通年にする 것도検討されていますが、要は出さなければいいのであり、今回の一件は現場の衛生管理・対策を高めるきっかけになったと私はプラスに受け止めています。

病気と一口に言っても各種あります。別にこれを勉強する必要はありませんが、病気がある中でも牛を健康に保つために意識を持って衛生管理に取り組んでいただきたい。

## 牛は手をかけただけ応えてくれる

病気への取り組みにより死廃率が下がっていくようになっていっています。病類別死廃事故の状況は図1の



通りで、全体で見ると約7割が成牛、3割が胎児あるいは出生子牛となっています。

令和7年4月に定められた家畜改良増殖目標では長命連産性の改良を引き続き促進することとされています。長命連産はやはり丈夫で健康でないと実現できません。

病気に対する抵抗性が遺伝的に重要な指標として改良が進められることとなります。ざっくりとした計算ですが、40～50頭規模で、3.5年使えた牛と5年使えた牛を比較すると年間300万円の収支差が出るということになります。

除籍される理由は図2のような障害が上位を占めていま

す。乳房炎や繁殖障害は注目すべき点ですが、あわせて爪も重要です。いいタイミングで割蹄するというのはとてもコスパのいい投資です。しっかりと衛生管理をすれば牛は応えてくれますので、やはり大事なことだとお伝えしたい。

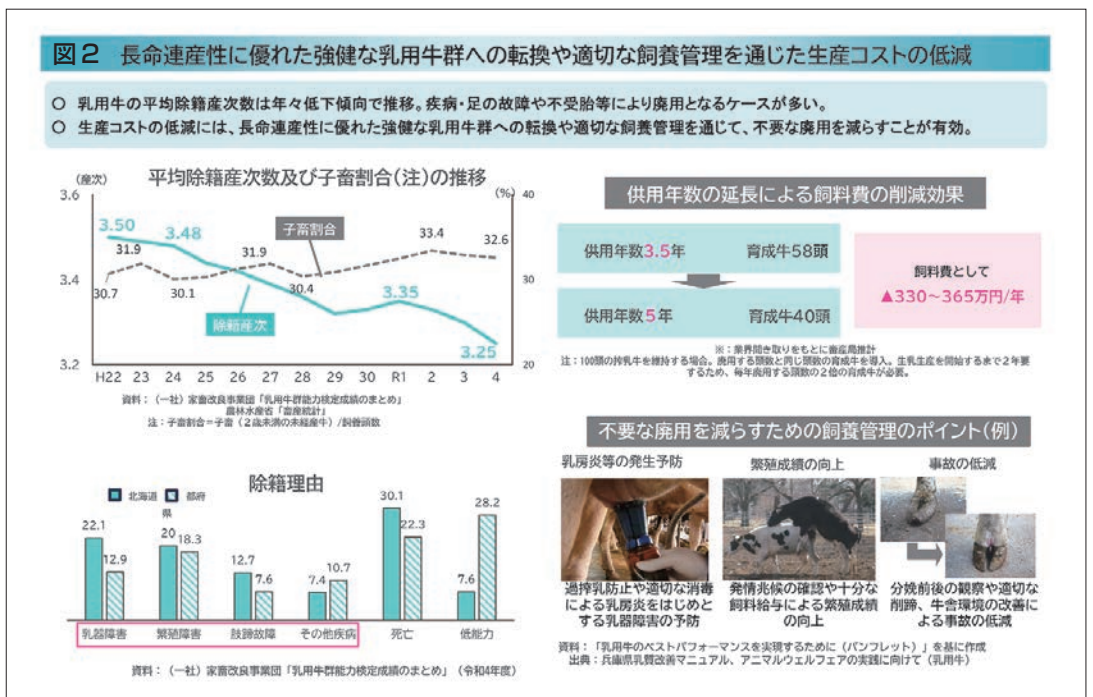
## 仲間や組織で取り組むことの大事さ

酪農家全体が少なくなる一方ですが、その中でもしっかり休みを取っていかねばならない。そのためには酪農ヘルパーの人員数が増えないといけない。全国の各酪農組合の組合長や理事の方々に酪農ヘルパーの必要性や処遇の改善、所得向上などを問いかけていきたいと思っています。

酪農を取り巻く情勢は日々変化しています。そうした情報に関心を持ち仲間を取り組んでいくことが大事です。変化をチャンスだと捉え前向きに考えてほしい。

最後はやはり組織力です。頼れるところはしっかり得意な人に頼ることで。そのためのネットワーク作りとして、チャンスを見つけていろんな会に参加してほしい。

酪農ヘルパー全国協会の事業の中にもそうした研修機会が用意されていますので活用してほしいと思いますし、利用組合あるいは酪農協の幹部には参加しやすい環境づくりをしていただくことが大事だと考えています。



## 事例発表②

# 酪農ヘルパーへの就職についての課題

学校法人滋慶学園 TCA東京ECO動物海洋専門学校  
キャリアセンター長 小山 武志



### はじめに

表は本校の酪農ヘルパーへの内定報告です。在籍する学生は平均70名前後でそのうち約1%が内定をいただいています。一方、インターンシップに関しては少しずつ増えてきています。来年度もすでにお声掛けいただいている組合があり、5名の学生が手を挙げています。学生も早い段階から耳に入れば興味を持ちますので、非常にいいスタートを切っていると感じています。

TOKYO ECO															
【酪農ヘルパー内定者報告】															
内定状況															
専攻名	在籍	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	内定者合計	対象率
2022年度 飼育	53											1		1	1.9%
2023年度 飼育	84													0	0.0%
2024年度 飼育	85							1						1	1.0%
2025年度 飼育	68							1						1	1.5%
合計	290	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	1.1%

【畜産・酪農インターンシップ参加状況】  
21年:1名 22年:3名 23年:5名 24年:6名 25年は道外も

畜産や酪農も含めた牧場への内定を見ると先ほどの数字よりも若干伸びています。動物専門学校は一般的に一般の大学生に比べスタートが遅く、夏休みが終わる頃から少しずつ内定をいただくのですが、牧場・畜産関係への内定は11～3月で非常に遅い。ここでお伝えしたいのは、学生たちが決して第一希望で畜産や牧場関係を目指しているわけではないという事実です。そもそも畜産酪農業界を「知らない」という現実があるため、そこへの就職を目

指していく時期も遅くなっているということです。

学生が業界に対して持っているイメージや、要望について、毎年、アンケート調査を行っています。昨年まではまず給与面、次いで仕事内容を重視していたのですが、今年度は人間関係が一番となりました。今の日本の情勢を踏まえれば給与面が高いのは納得いきます。人間関係に関しては対面で誰かと何かをする経験が減り、人間関係の構築を不得意とする中で、関係を構築しやすい場所でないと働いていけない。

仕事内容については重労働でないこと。これは楽をしたいということではありません。学生が仕事だけでなく自分自身のライフスタイルも大事にしているということです。

### 学生の傾向

行動力やコミュニケーション力への不安はネット世代によくある問題です。ネットや携帯、SNSに関しては能力を持っているのですが、実際に自分たちの足を使って動くとなると、なかなか打開できない。また、叱られるのが苦手な傷つきやすく失敗を恐れる傾向があります。今、問題となっているのは貧困や生活環境の違いによる「経験（体験）格差」です。行動し、いろいろな経験をしてきた子供たちは非常にアグレッシブなのですが、そういう機会が得られなかった子供たちは、共感できることや意味があることでないとしっかり取り組めないようです。さらにリアルな人間関係には非常に不器用ということも挙

【学生の動向について】

昨今の学生傾向（就職活動面から鑑みて）

【行動力・コミュニケーション力に心配や不安を抱えている】

※職場での人間関係を最も気にする（アンケート）

- 叱られるのが苦手で傷つきやすい・失敗を恐れる
- 共感できる、意味があることにしっかり取り組める（やりがい）
- オンラインは慣れているが、リアルな人間関係には不器用
- 古い常識に縛られない柔軟性（メンタル面では・・・）



げられます。頭でイメージできても言葉が浮かんでこない。そういったところでコミュニケーションに不安を感じています。

そして、一番は古い常識に縛られない柔軟性です。世の中にはこれまで培ってきたものや経験を大事にされている業界が多々ありますが、そこに耐えられない若者がいるというのが現実です。

就職活動の意識について尋ねると、約57%は具体的に決めているのですが、それ以外の学生はまだ明確にはなっていない。見方を変えれば、志望動機や価値観は、これから変えていくことができるということです。

インターンシップや業界研修の際に不安に思うこと、立ち止まってしまう理由について、ここでもやはり「コミュニケーション力の不安」や「自分自身の行動力への不安」が2トップとして挙げられています。そして3番目に「就職先、研修先の見つけ方が分からない」こととなっています。実はこれはチャンスでもあります。どれだけその業界の魅力を周知できるかによってまだまだ変わっていくと言えるからです。

### 離職やミスマッチの実態

動物業界で大きく目立つのが離職率で、酪農ヘルパーや畜産現場に限らず非常に高いと言われます。要因としてはコミュニケーション不足により人間関係が構築できない、あるいは地域や生活環境へ適応できない。体験や経験をしていないこと。また責任感から無理がたたったり、精神的に限界を迎えてしまうことも挙げられます。今の学生はコミュニケーションや行動力が不足しているものの、仕事ができないわけではないし、真面目でものすごく能力が

高い学生も多数います。ただ経験不足がただたとなって精神面での不安定さや弱さが出てきてしまう。また、業界研修（インターンシップ）に行っていないため仕事内容にギャップを感じることも離職の要因になっています。

その打開策として今年度は、酪農ヘルパー全国協会にもご協力もいただきながら畜産酪農分野のみをピックアップした企業説明会を試験的に実施してみました。また北海道と栃木県の2組合、プラス同地域の

酪農家をお招きして、企業説明会を実施しました。

学生からは「酪農なんて…と考えていたけれど、見方が変わりました」「就職先として見てみようかな」といった声があったほか、本校の講師に相談する学生も出てきています。酪農に触れる機会を増やし仕事の魅力を伝える機会を多くすることで、学生の意識や見方も変わってくるということです。

### 見えてきた課題と改善策

今後はやはり業界の周知が非常に大事になります。学内での授業等々を通じて酪農や畜産の世界がどういったものか強く押し出していかねばならないし、そのために企業様（酪農ヘルパー利用組合）のご協力も必要です。「知る」ことから「行動」に向けての動機づけに関しては、仕事のやりがいや生活環境について説明をしていく必要があると思います。と同時に「Z世代」「a世代」とも言われる学生への理解も必要です。

TOKYO  
ECO

【今後の展望】

- やりがいを感じられる現場の魅力提供
- 教育現場の提供の拡大
- 共に人材育成を推進

東京 動物海洋専門学校

畜産酪農業界の仕事は、学生にとっても非常にやりがいがある、自分たちの生活に直結する、命にも直結する仕事で魅力は非常に大きいと思います。労働環境を見ても、実は動物業界のなかでかなり水準が高い。そういった意味でも、まだまだ伸びしろがあると思っています。

## 事例発表③

# 新規就農して思うこと ～酪農ヘルパーの重要性&課題～

広島県酪農業協同組合  
酪農家 田島 あゆみ



### これをしていきたい気がする

私は広島県安芸高田市高宮町で酪農をしています。夫と息子3人、5人で暮らしております。農林水産省を辞めて第三者継承という形で新規就農し現在7年目です。

私は18歳まで広島市で育ちました。よくある団地で農地もないし、牛なんて見たこともない。この頃は本当に農業とは無縁で、農家になるとは微塵も思っていませんでした。

広島を離れて福岡の大学（農学部）に進学しました。当時はバイオテクノロジーという言葉が出てきて、いわゆるクローン羊や遺伝子組み替えがブームとなり、農学部自体に人気がありました。これに乗かって、よし私も！ということで畜産学科に行きました。牛とののはじめての触れ合いは大学3年生の時の牧場実習でした。

24歳で大学院を卒業して畜産系の技術職員として農水省に入省しました。この頃は農家になる考えはまったくなく、むしろ農水省の職員として農業を盛り上げるんだという気合に満ちていました。ほとんど農業と触れ合うことがありませんでしたが、私的にはかなりやりがいも感じ、きびきびと働いていた頃です。

転職となったのは鹿児島県庁への出向で、離島の繁殖和牛を見に行ったり防護服を着て農家さんを回ったり、小学校で着ぐるみを着て食育とか消費拡大をするなど現場に近いところで仕事させてもらいました。この時にいろんな農家さんと知り合い、ほぼ100人中100人が「農業って本当に大変なんだけどやりがいがある」とおっしゃっているのを聞いて“ああ、なんかいいな”とうっすら憧れを持ち始めていました。

鹿児島県で2年ほど働いて再び東京に戻り、当時の牛乳・乳製品課に配属になりました。ここで人生の転機②です。本場を見に行っただけで、北海道の中村牧場さんで3泊4日のファームステイして、結構しっかりと搾乳や哺乳といった作業をさせてもらいました。

この牧場が本当にすばらしくて「仕事をしただけ牛は答えてくれる、それがやりがい」とおっしゃっていました。また従業員の方からも「この奥さんはすぐに牛の異変に気づいて手当てをしている。牛を大事に、すごくいい経営されています」という話を聞いて、鹿児島時代のふわっとした憧れから「これがしたい気がする」と変わっていきました。いろいろ考えて、めちゃくちゃ葛藤もあったのですが、思い切って農水省を退職しました。周りには驚かれましたが、今こうしてやりたいことがやれているのでよかったですと思っています。

その後は、広島県内の牧場に勤務して勉強させてもらいました。このまま雇用を続ける選択肢もあったのですが、やはり自分のやり方で牛を飼ってみたい、独立したいと考えるようになりました。広島の方にお声がけしたら早速紹介していただ

### ○ 34歳 2019年4月 木下牧場から田島牧場に



き、「じゃあ、やりたいです」と。半年後ほど準備をして、2019年に独立、牧場主となりました。

労働力は私と夫、実の弟です。経産牛27頭、育成22頭。ちょっと育成が多いのですが、マックスで34頭入りますので、そこを目指して、増頭しながら頑張っているところです。

## 酪農ヘルパーの重要性と課題

酪農ヘルパーさんには大変お世話になっています。就農から7年の間に旅行も行かせていただきましたし、友人の結婚式や身内の不幸の際も酪農ヘルパーさんのおかげで出席できました。また出産は帝王切開で手術日までわかっていたので、酪農ヘルパーさんをお願いして、夫に立ち会ってもらうこともできました。本当に酪農ヘルパーさんのおかげで酪農だけでなく私生活を大事にすることができていると思っています。

**私が思う酪農ヘルパーの課題**

ヘルパーは酪農家の命綱  
冠婚葬祭、療養、旅行時に  
牛の世話や搾乳を代行する専門職

休みなく続く酪農作業に従事する  
酪農家にとって不可欠な存在



**なのに人手不足**

そんな私が思う酪農ヘルパーの課題です。私が言うまでもなく、やはり成り手不足に尽きると思います。酪農家にとって酪農ヘルパーさんは命綱であり、成り手がいないことに本当に危機感を持っているところです。

私が見て課題だと思うことを二つ紹介します。

課題①賃金の魅力です。ここ数年、酪農の情勢が悪かったこともあり、私も夫と相談してどちらかアルバイトに行った方がいいのではないかと求人を見たのですが、フォークリフトに乗れると仕事がたくさんある上にどれも単価がいい。ダンプも乗れるので酪農をやめてこっちにした方がいいのではないかとというぐらい高単価の求人があふれています。拘束時間もネック

で、うちだと朝4～7時、夕3～6時となっています。昼間はフリーの時間ということにはなるんですけども、長時間拘束していることには変わりはありません。巷に高単価の求人があふれ、それでも酪農ヘルパーをやりたいと思えるでしょうか。

課題②働き続けることが難しいこと。搾乳は立ったりしゃがんだり、機械もやり方も農家によって異なるため、大変な重労働な上に専門性も必要です。また、生活リズムも不安定で家族の時間の確保も難しく、そのことが理由でうちに来ていた30代の方も辞めてしまわれました。

## 要望を聞いた上で歩み寄ること


提案としては①公的支援の強化です。酪農家から賃金を出せれば一番ですが、やはり足りないところを公的機関に支援していただくことも一つの方法です。

②柔軟な働き方の提供です。酪農ヘルパーさんの要望も聞いたうえで、酪農家側が歩み寄って調整することも考えていかなければいけないと思います。拘束時間を考慮して朝のみあるいは夕のみといった働き方も提供できるようにしたいと思います。

③作業の負担軽減です。酪農ヘルパーのためだけでなく酪農家自身が働き続けるためにも負担軽減が大事ですし、そこに公的支援があれば非常に助かります。

私的には酪農家さんは「うちはこのやり方」という思いが強いように感じるんですね。酪農ヘルパーさんの側からは言いづらいこともありますので、酪農家側も変わっていかないといけないのでは、と思っています。

**提言：労働環境の抜本的改善が急務**



- 公的支援の強化**  
国や地方自治体による支援  
(賃金だけでなく、福利厚生、休暇制度など)
- 柔軟な働き方**  
酪農家の作業時間にヘルパーが合わすだけでなく、酪農家側もヘルパーの意向を踏まえつつ作業時間を調整。朝のみ夕のみなどシフトを柔軟に。
- 作業の負担軽減**  
機械化、スマート農業の導入などにより作業の負担を軽減。ヘルパーだけでなく酪農家のためにもなる。

**酪農家の意識改革も必要**

## 新規就農事例紹介

### 「酪農ヘルパーからの新規就農」

兵庫県神戸市西区、稲作地などの田園風景が広がる中にニュータウンが点在する、現在神戸市内で一歩人口の多い区です。西区で酪農を営む泉山祐士さんは、酪農ヘルパーとして8年勤めた後、令和6年に第三者継承により新規就農しました。

#### ◆現在の経営規模は？

搾乳牛33頭、育成牛12頭の45頭で経営しています。私と従業員1名の2人体制です。年間出荷乳量は28万kg。家族は妻と子供3人の、5人家族です。



#### ◆非農家の泉山さんが酪農を志した経緯

大学生の頃に地元で経験した農業ボランティアで、農業は楽しいし大事な仕事だと感じ、携わりた



兵庫県神戸市  
酪農家・元酪農ヘルパー 泉山 祐士 さん

と思うようになりました。大学卒業後は農業をさせてもらえる場所を探して全国各地を点々とまわり、北海道で酪農に出会いました。その後スイスに渡って酪農の見識を深め、兵庫県に来ました。神戸市の牧場で働いている時に「酪農ヘルパーという仕事があるよ」と聞いて興味を持ったのがきっかけです。

酪農ヘルパー時代は、農家さんごとに作業方法が異なり覚えるのに苦労しました。でも農家さんがよくくださったので苦しいことや辛いこともほとんどなく、農家さんごとのやり方やこだわりを意識しながら作業するよう心がけていました。



酪農ヘルパー時代を知る関係者に当時の泉山さんについて伺いました。

#### ◎神戸酪農ヘルパー組合 中澤惣一郎組合長

「もっといろいろな牧場を見たい」ということで来られたので、ものすごくやる気があり、自分からどんどん「やらせてください、任せてください」という感じでした。

#### ◎兵庫県畜産協会 秋宗貴子さん

神戸酪農ヘルパー組合の事務局をしていた時に泉

山さんが専任ヘルパーで働いており一緒に仕事をしていました。農家さんの信頼がとても厚いリーダー的存在の方でした。若手酪農ヘルパーのお兄さんの存在で彼らの面倒も見てくれますし、酪農ヘルパーの立場からも事務局に提案もしてくれました。また、酪農家さんの困りごとなどもすぐに伝えてくれますごく運営しやすかったです。

### ◆新規就農に至る経緯

この10年近くの間で酪農家が30戸から13戸まで減ってしまって、ちょっと大げさですけど自分が就農することで一人でも酪農に興味を持ってもらって新しく始めてくれるような人がいたらいいなと思っていました。

5～6年前にここの酪農家さんが辞めるタイミングで声をかけていただきました。その時はいろいろあって他の人に決まったのですが、その後、コロナの影響もあってかその方が辞退されてしまい、もう一度声をかけていただき、第三者継承による新規就農を決めました。

就農にあたり、地元兵庫六甲農業協同組合や神戸市農業改良普及センターにはたいへん親身になって相談に乗ってもらい、事業計画を作成したり、銀行に提出するお手伝いなどたくさんのご協力をいただきました。

**泉山さんの奥様・梢さん。酪農ヘルパー時代にすでに結婚されていましたが新規就農を考えた当時をこう振り返ります**

夫が今までしてきた仕事の延長線上ということでも、もちろん大きなお金を借りることに多少の不安はあったんですけど、今は何の仕事をしていてもある程度の不安はつきまとうし、特別に新規就農する



からということへの不安はなかったと思います。

### ◆就農2年目、軌道に乗せるための課題

コスト低減に取り組み、いろんなところを見直してかなり切り詰めています。飼料関係だと近くのウイスキー工場からウイスキー粕、近隣の農家などから米ぬかを集めてくるんですけど、乳質や繁殖成績はやっぱり1年目なかなか厳しいところがありました。単にコストを抑えるために何でも給与するのではなく、いかに良いものを給与しつつコストを下げていくかを考えており乳質に関しては良くなりました。

### ◆これからの目標

目標は牛舎の建て替え。あとは六次化も考えています。まだ長い将来かもしれないんですけど、人が来て見ていただけるような牧場を作っていきたい。

自分を見て酪農やってみたいという人が増えてきたらいいなと思っているので、研修生や酪農をやってみたいという人は広く受け入れたいし、協力もしてあげられたらと思っています。



### ◆新規就農を目指す酪農ヘルパーに向けて

酪農ヘルパーは様々な酪農家さんのところに実際に入りいろいろなことを学べるので新規就農するにあたってはすごく勉強になると思います。もう一つ大事なことが人間関係です。私も組合の皆さんにすごい可愛がっていただいていたので、就農する時も、就農してからも、いろいろ気にかけていただいたり声をかけてもらったりしてすごくありがたいことです。新規就農を目指す方は酪農ヘルパーになって地域の農家さんと良い人間関係を築いてください。

# 令和7年度酪農ヘルパー専門技術員養成研修の実施

## ◆初任者研修 I (2週間コース) II (1週間コース)

酪農ヘルパーとして就業して概ね1年以内の方を対象に初任者研修を実施しました。実習を中心とした「初任者研修I」は11月に岡山県の中国四国酪農大学校で開催、また、講義を中心とした「初任者研修II」は、5月に北海道のホクレン訓子府実証農場、6月に北海道立総合研究機構酪農試験場および福島県の全酪連酪農技術研究所、7月に北海道帯広市の十勝農業協同組合連合会、10月に再びホクレン訓子府実証農場、令和8年1月に北海道江別市の北海道農業協同組合学校（JAカレッジ）で開催し、計7回の研修会を実施しました。本研修を通じて、受講者は酪農全般に関する知識と技術を体系的に習得するとともに、地域を越えた酪農ヘルパー同士の交流を深めました。なお、本研修の修了者60名に「酪農ヘルパー専門技術員認定証」を授与しました。



初任者研修II (ホクレン訓子府)



初任者研修I (中国四国農業大学校)

## ◆中級者研修 (1週間コース)

令和8年2月、JAカレッジにおいて中級者研修を開催しました。本研修は、3年以上の経験を有す

る酪農ヘルパーを対象に、最新知識の習得や学び直し、コミュニケーション能力の向上を通じて、日常業務で生じる疑問の解決と業務成果の向上を図ることを目的としています。

今回は3名が参加し、主として酪農学園大学から派遣された講師陣による講義を中心に、専門的な知識と見識を深めました。参加者は中級者として相互に意見交換を行いながら受講し、日々の酪農ヘルパー業務における課題や疑問を踏まえて積極的に学ぶ姿勢が見られ、有意義な研修となりました。



中級者研修 (JAカレッジ)

## 【参加者からの感想】

### ■北海道（渡島地区） Nさん

今回の研修を受講して、普段の業務だけではなかなか知ることができないことを学ぶことができ、知っていることをより詳しく理解することができました。度々知らない酪農家さんに行く中で精神的な疲労もありましたが、同じ環境の中で頑張る酪農ヘルパーの方々に会えてよい刺激にもなりました。

### ■北海道（宗谷地区） Eさん

他の利用組合の若い酪農ヘルパーの方々と交流できたことがとてもよかったです。知らない土地で目標に向かって頑張っているのが励みになりました。現場の経験はあってもじっくり座学を受けることはなかったので、そういった点でも今回の研修はとてもよかったですと思います。

### ■北海道（根室地区） Mさん

今回の研修を通じて、酪農ヘルパーは単に作業を手伝う存在ではなく、酪農家を支え、牛の命と乳製品の安全を守る重要な役割を担っていることを強く感じました。今後は学んだ知識と姿勢を忘れず、現場で信頼される酪農ヘルパーになりたいと思いました。

### ■北海道（十勝地区） Kさん

この研修で感じたことは、自分が行っている搾乳作業は酪農のほんの一部に過ぎないということです。飼料や土壌を作る人、生乳を加工して出荷する人、私たち酪農ヘルパーを雇ってくれる人、その酪農ヘルパーを利用して下さる牧場さんなど様々な繋がりがあり、その人たちの全体で酪農業界を支えているのだと実感ができる研修でした。

### ■岩手県 Sさん

研修の内容は専門的な内容が多く難しくも感じたが、様々な知識を深めることができ、酪農家さんか

らの質問にもこれまで以上に対応できる自信ができました。また受講生の皆さんとの意見交換では各々の酪農ヘルパーという仕事への強い思いを感じ取り、自分もこれから酪農ヘルパーとして頑張っていこうと思える研修になりました。

### ■栃木県 Nさん

この研修を受けることによって、牛の病気のことやエサを食べると体内で何が起るかなどを詳しく知ることができ、より一層牛への興味が出てきました。ここで会えた仲間とも納得するまで話し合うことができ、とても充実した5日間でした。

### ■兵庫県 Kさん

今回の研修で得た知識を活かしながら作業を行い、酪農家さんとしっかりとコミュニケーションをとって、よりよい牛舎環境づくりや、自身にとっても働きやすい環境づくりを行っていききたいと思います。

## 令和8年度 酪農ヘルパー研修開催予定（令和8年2月現在）

開催場所	種別	初任者研修Ⅰ (2週間コース)	初任者研修Ⅱ (1週間コース)	中級者研修 (1週間コース)	中核酪農ヘルパー 指導力向上研修
ホクレン訓子府実証農場 (北海道 訓子府町)			5/11~5/15 10/19~10/23		
十勝農業協同組合連合会 (北海道 帯広市)			6/29~7/4 9/28~10/3		
北海道立総合研究機構酪農試験場 (北海道 中標津町)			6/1~6/5		
北海道農業協同組合学校〔JAカレッジ〕 (北海道 江別市)			令和9年 1/18~1/22	令和9年 2/15~2/19	
蔵王酪農センター (宮城県 蔵王町)	8/31~9/11				
全酪連酪農技術研究所 (福島県 矢吹町)			6/22~6/26		
中国四国酪農大学校 (岡山県 真庭市)	11/9~11/20				
全国酪農協同組合連合会 (東京都 渋谷区)					8/4~8/6
北農ビル (北海道 札幌市)					10/28~10/30
兵庫県農業会館 (兵庫県 神戸市)					令和9年 1/26~1/28

### ◎出前研修の実施について

酪農ヘルパー研修の参加が困難な利用組合等に出向き、酪農ヘルパーに必要な知識および技術等の修得・向上を図るための研修の実施を予定しております。

(詳細につきましては、後日、都道府県団体を通じてご連絡する予定です)

## 令和7年度 中堅酪農ヘルパー指導力向上研修を開催

酪農ヘルパーの現場では「出役する酪農ヘルパー同士のコミュニケーションが大事であるが、ベテランヘルパーでも世代が異なると、どのように話しをしたら良いか困っている」との意見が多く聞かれました。

このため酪農ヘルパー全国協会では、先輩酪農ヘルパーとして新人・若手ヘルパーを支え指導する重要な役割を担う人材育成を目的として、令和4年から中堅酪農ヘルパー指導力向上研修（令和8年度より「中核酪農ヘルパー指導力向上研修」に名称変更）を開催しています。

対象者は、酪農ヘルパーの基本的な技術を習得し、一定の経験（概ね5年以上）を積んだ酪農ヘルパーであり、所属する利用組合から推薦された指導的立場にある方、または今後その立場を担う予定の方です。

令和7年度は、札幌市（令和7年10月29日～31日）および神戸市（令和8年1月27日～29日）の

2会場で、2泊3日間の研修会を開催しました。

研修は、人材育成の専門講師による「指導力向上」研修をメインとし、酪農ヘルパー業務の再確認として搾乳機器の点検ポイントや牛舎内作業の安全対策に関する講義、参加者による意見交換等を実施しました。

「指導力向上」研修では、講師からの出題や質問、グループワーク等を通じて活発な議論が行われ、「後輩や新人の個性を受け入れ、寄り添いながら指導していきたい」などの感想が聞かれました。

また、3日間の研修を通じて受講者同士の交流も深まり、「さまざまな年齢や経験年数の参加者と意見を共有でき、有意義だった」との声も寄せられました。

今後も新人・若手酪農ヘルパーの定着強化を目的として、本研修を継続して実施しますので、貴利用組合からのご参加をお願い致します。

札幌会場



神戸会場



## 就農相談に対応する「農業EXPO」で酪農ヘルパー事業をPR

酪農ヘルパー全国協会では、令和7年度も農業関係の就業相談イベント「新・農業人フェア」にブース出展し、酪農ヘルパーの認知度向上に向けて、仕事内容ややりがい、魅力を紹介しました。

### ◆幅広い対象者・相談内容に対応する『農業EXPO』に出展

「新・農業人フェア」は自治体や農業法人等が農業分野への就業や就農支援を行う農林水産省後援のイベントです。農業法人が出展し具体的な就農相談に対応する『農業就職・転職LIVE』と、日本全国の自治体、就農支援機関など各種団体が出展し、就農したいという気持ちを持つすべての方の相談に対応する『農業EXPO』があり、令和7年度は令和7年8月～令和8年2月にかけて『農業EXPO』3回、『農業就職・転職LIVE』2回、計5回開催されました。酪農ヘルパー全国協会は『農業EXPO』の3回すべてに出展しました。



**9月15日(月)：東京国際フォーラム (東京)**

会場来場者数：1,474名 (前年対比137.9%)

**11月9日(日)：グランキューブ大阪 (大阪)**

会場来場者数：781名 (前年比96.1%)

**11月23日(日)：東京ビッグサイト (東京)**

会場来場者数：1,330名 (前年比94.7%)



### ◆利用日数↑、酪農ヘルパー数↓ 要員確保が喫緊の課題

今年2月に発表した「酪農ヘルパーの利用実態」によれば利用農家1戸当たりの年間利用日数は全国平均で25.24日(前年度差+0.31日)、年間に12日以上利用した農家は実利用農家全体の69.6%(前年度比+1.1%)と利用日数自体が増えています。その一方で酪農ヘルパーは全国で1,409人(前年同月差△45人)となっており、酪農ヘルパーの要員確保が喫緊の課題となっています。

### ◆酪農ヘルパー全国協会のブース

今年度も職業認知度向上用のリーフレットなどを活用し、酪農家にとって必要不可欠な酪農ヘルパーの役割や業務、仕事の魅力を紹介。協会HPや求人情報に誘導するQRコードを配布するなど、酪農ヘルパー要員確保のための活動を行いました。

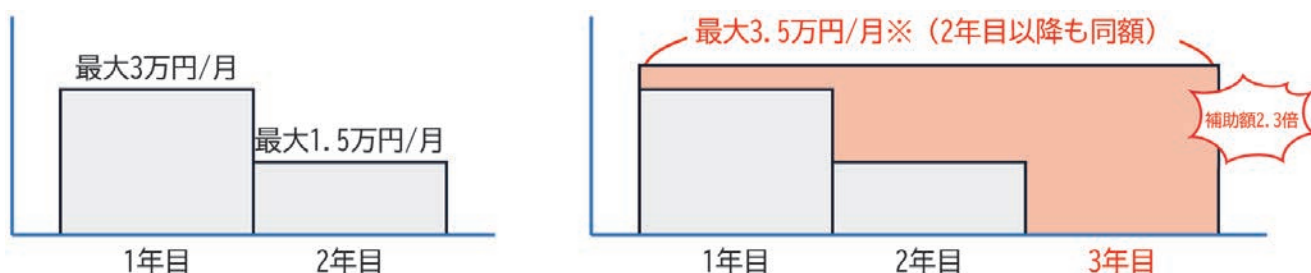
酪農ヘルパー全国協会では令和8年度も引き続き、新・農業人フェア等を通じて積極的に事業のPR・認知度向上活動を展開する予定です。

# 令和8年度 酪農経営安定化支援ヘルパー事業 (alic事業) の拡充について

## ポイント1 酪農ヘルパーの待遇改善の拡充

★酪農ヘルパー利用料金と酪農ヘルパー（専任酪農ヘルパー）の給与を引き上げた場合に、引上げ額に応じて交付する奨励金を拡充

- ・奨励金交付期間を最長2年（2年目以降は半額）から**最長3年（2年目以降も同額）**に延長
- ・酪農ヘルパー給与の**3%以上**増を要件化
- ・さらに酪農ヘルパーの給与を**5%以上**上げた場合は、奨励金単価+5千円  
（奨励金交付額：最大35,000円/月・人、交付期間：最長36か月間）



<酪農ヘルパー利用料金の上げ幅と酪農ヘルパー給与の増加率別奨励金交付額の関係>

酪農ヘルパー利用料金の上げ幅	奨励金単価（月・人）	
	酪農ヘルパー給与3%増	酪農ヘルパー給与5%増
1,000～2,000円未満/日	10,000円/月	15,000円/月
2,000～3,000円未満/日	20,000円/月	25,000円/月
3,000円以上/日	30,000円/月	35,000円/月

※交付期間：最長3年間

## ポイント2 酪農ヘルパー募集活動の支援拡充

★酪農ヘルパー募集活動や広告掲載等への支援を強化（定額）

- ・上限額UP **200万円/組合** ← 100万円/組合

★学生インターンシップへの支援を強化（定額）

- ・宿泊費上限額UP **1人当たり10,000円/泊** ← 1人当たり6,000円/泊

## ポイント3 酪農ヘルパー育成支援の追加

★酪農ヘルパーをとともに育成する酪農家への支援を追加（定額）

- ・**8,000円/日、研修生1人あたり90日以内**

★出前研修の追加（定額）

その他、酪農ヘルパーへのOJT研修や免許取得、傷病時利用の互助基金等への支援は継続して行われます。

## 1. 酪農ヘルパー人材の確保・育成

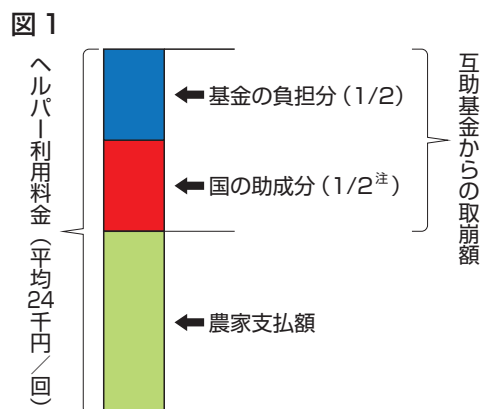
【酪農ヘルパー確保のための支援】		補助率
酪農ヘルパーに関心ある学生対象のインターンシップの実施		定額、宿泊費 上限1人当たり10,000円/泊
募集のためのイベントへの参加・開催・求人広告の掲載		定額、上限1利用組合 2,000千円 都道府県を区域とする団体のうち、募集活動の対象とする利用組合の数が10以上の場合 上限4,000千円
認知度向上と要員確保のために実施する出前講座		定額
内定者を対象とした就業前研修		定額、宿泊費上限1人当たり10,000円/泊
酪農ヘルパーを目指す学生への修学資金		1/2以内、上限1人当たり60,000円/月（24カ月以内）
特定技能外国人活用に向けた経費		1/2以内（36カ月以内）
【酪農ヘルパー等の育成支援】		補助率
雇用前研修手当交付に関する費用		1/2以内、上限1人当たり25,000円/月（雇用3カ月前以内）
研修修了後、酪農ヘルパー等に1年以上従事することが見込まれる酪農後継者を対象とした活動区域内の研修		利用料金相当額の1/2以内、上限1人当たり8,000円/日（120日以内）
酪農経営に新規就農を希望する酪農ヘルパーが酪農予定酪農家から円滑な継承を図るための派遣研修		利用料金相当額の1/2以内、上限1人当たり8,000円/日（120日以内）
酪農ヘルパー技術研修に係る手当	実践研修手当	1/2以内上限1人当たり37,500円（24カ月以内）
	住宅・通勤手当	定額、上限1人当たり33,000円（24カ月以内）
酪農ヘルパーをともに育成する酪農家への研修協力金		定額、上限1人当たり8,000円/日（研修生1人当たり90日以内）
業務に必要な免許及び資格取得		1/2以内
資質向上研修会の開催		1/2以内
他団体が開催する研修会への参加経費		1/2以内、参加促進費 上限1人当たり8,000円/日
臨時ヘルパーを対象とした出役経費		定額、1,000円/回（1人当たり年間120回以内）

## 2. 酪農家の利用負担軽減（傷病時利用の円滑化）

	補助率
傷病時（①～⑤のいずれかの要件）の利用料金を軽減するために行う互助基金に対して助成	1/2
①病気・ケガ・事故・出産・死亡、②忌引き	
③父母等の病気見舞いに伴う里帰り、	
④育児サポート、⑤研修会等への参加	

## 3. 酪農ヘルパー利用組合の強化

	補助率
【広域利用調整のための支援】 ・遠距離出役等の経費	1/2以内
【利用組合の経営改善、体制強化の支援】 ・出役調整の事務軽減を図る電子システム化 ・コンサルタント活用による経営診断 ・酪農ヘルパー傷害補償保険 ・損害賠償保険費用	1/2以内
【家畜防疫対策のための支援】 ・防疫機器等の整備費用	1/2以内
【地域独自の取り組みへの支援】	1/2以内
【酪農ヘルパー待遇改善のための支援】	前頁 ポイント1参照



注）複数の利用組合が互助制度を統合した場合、その年度に限り国の助成分が2/3となる。



# 酪農ヘルパー全国協会ホームページ活用紹介

酪農ヘルパー全国協会では、ホームページを通じて酪農ヘルパー事業に関する情報を関係者及び一般の皆様幅広く提供することにより、酪農業の今後の発展に不可欠な酪農ヘルパー制度の安定的な運営に貢献できるよう努めています。主要なコンテンツは以下の通りです。

①酪農ヘルパーに興味を持っている、動物が好き等の一般の方々向けに、仕事内容を易しく紹介する「酪農ヘルパーガイド」「酪農ヘルパー動画集」をご覧ください。

②酪農ヘルパー就労を考えているの方々向けに、「酪農ヘルパー募集情報」や各地の利用組合の活動状況や募集情報を知ることのできる「ヘルパー組合の活動紹介」を設けています。学生向けには「インター

ンシップ情報」(就労体験)も掲載しています。

③酪農ヘルパー利用組合向けには、「酪農ヘルパー優良事例発表会」の動画、「酪農ヘルパー研修」の開催要領及び受講申込に関する情報、「臨時ヘルパー傷害補償制度」のご案内、また毎年全国の利用組合のご協力を得て実施している「利用実態調査」の結果報告などを掲載し、日々の業務に役立てていただけるものとなっています。

関係者の皆さまには、教育研修や要員採用のツールの一つとして、ぜひ当ホームページを積極的にご利用いただきますようお願いいたします。

\*募集情報の新規・追加・変更・リンク掲載希望、ご意見・ご要望は随時当協会までお寄せください。

お問い合わせ：info@d-helper.lin.gr.jp



トップページ

<http://d-helper.lin.gr.jp/>

\*当ホームページはスマートフォンからのアクセスにも対応しております。



酪農ヘルパー全国協会からのお知らせ

## 酪農ヘルパーガイド

<https://d-helper.lin.gr.jp/guide/>



酪農ヘルパーってなに？  
酪農ヘルパーってどんな仕事？  
酪農ヘルパーはやりがいのある仕事

### 【よくあるご質問】

酪農ヘルパーとはどんな仕事なのか、初めての人にも理解していただけるように、Q&Aを交えて平易に紹介しています。



## 利用組合向け情報

<https://d-helper.lin.gr.jp/daily/>



酪農ヘルパー事業優良事例発表会  
過年度の発表会の内容を動画で紹介しています。

### 酪農ヘルパー研修

研修日の開催日程、会場、カリキュラムの概要、受講申込方法等について掲載しています。

### 臨時酪農ヘルパー傷害補償制度

臨時酪農ヘルパーの出役中の事故による障害を補填する保険のご紹介です。

### 酪農ヘルパー利用実態調査

毎年、全国の利用組合のご協力を得て、組織の状況や利用実績について集計した調査です。酪農ヘルパー制度充実のための貴重な基礎資料です。

### 協会情報誌「酪農ヘルパー情報」

当協会の活動状況をお伝える情報誌です。

### 過年度酪農ヘルパー事業の取組み事例集

各地の利用組合・先進事例報告集です。

## 酪農ヘルパー動画集

<https://d-helper.lin.gr.jp/guide/>



【動画】私たち酪農ヘルパーです！  
酪農ヘルパーの仕事・暮らし・夢について紹介します。



【動画】酪農ヘルパーになろう  
酪農ヘルパーの仕事の実際について詳しくご紹介します。

【動画】酪農の仕事  
酪農家の仕事の実際について詳しくご紹介します。



## ヘルパー組合の活動紹介

<https://d-helper.lin.gr.jp/list/>



利用組合紹介サイト、  
採用情報リンク集

各地の酪農ヘルパー利用組合の活動状況や採用情報を知ることが出来ます。リンクを希望される利用組合はお気楽に当協会までご連絡ください。



## 酪農ヘルパー募集情報

[https://d-helper.lin.gr.jp/guide/helper\\_helper.html](https://d-helper.lin.gr.jp/guide/helper_helper.html)



### 各県別 募集情報

各地の酪農ヘルパー募集情報を見やすく掲載しています。  
アクセスして下さい。



都道府県	募集情報	募集先	募集内容
北海道	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
青森県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岩手県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
宮城県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
秋田県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
山形県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
茨城県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
栃木県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
群馬県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
埼玉県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
千葉県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
東京都	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
神奈川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
新潟県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
富山県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
石川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福井県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
山梨県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
長野県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岐阜県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
静岡県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
愛知県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岐阜県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
三重県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
滋賀県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
京都府	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
大阪府	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
兵庫県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
奈良県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
和歌山県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
徳島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
香川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
愛媛県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
高知県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福岡県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
佐賀県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
熊本県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
大分県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
鹿児島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
沖縄県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報

## 学生インターンシップ情報

<https://d-helper.lin.gr.jp/guide/internship.html>



### 各県別 募集情報

酪農ヘルパーを体験してみたい学生さん、インターンシップやっています。

都道府県	募集情報	募集先	募集内容
北海道	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
青森県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岩手県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
宮城県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
秋田県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
山形県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
茨城県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
栃木県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
群馬県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
埼玉県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
千葉県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
東京都	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
神奈川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
新潟県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
富山県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
石川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福井県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
山梨県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
長野県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岐阜県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
静岡県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
愛知県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
岐阜県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
三重県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
滋賀県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
京都府	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
大阪府	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
兵庫県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
奈良県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
和歌山県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
徳島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
香川県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
愛媛県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
高知県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
福岡県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
佐賀県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
熊本県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
大分県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
鹿児島県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報
沖縄県	酪農ヘルパー募集	酪農ヘルパー	酪農ヘルパー募集情報

## 新規就農情報

<https://d-helper.lin.gr.jp/newfarmer/>



酪農ヘルパーから新規就農の事例  
新規就農までのステップ  
これまでの調査事例

## 当協会について

<https://d-helper.lin.gr.jp/about/#h03>



組織概要、役員・会員名簿  
関係団体等リンク集他

# 臨時酪農ヘルパー普通傷害保険制度（令和8年度） [保険掛金が改定となりました]

例年、実施している「臨時酪農ヘルパー傷害保険（死亡・後遺障害・入院・手術・通院の広範囲リスクに対応）」は、年間約500名の臨時酪農ヘルパーの方々にご加入いただいで運用しております。業務中の“いざという時”のために是非ご検討いただきますようお願い申し上げます。

ルパーの方々にご加入いただいで運用しております。業務中の“いざという時”のために是非ご検討いただきますようお願い申し上げます。

## ●保険掛金

年払方式（加入月により4,260円～360円）

加入月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保険料	4,260	3,900	3,550	3,190	2,840	2,490	2,140	1,780	1,420	1,060	710	360

## ●補償内容

区分	保険金額
死亡・後遺障害	480万円
入院（手術特約）	10,000円／日（10倍）
通院（手術特約）	6,500円／日（5倍）

## ●加入方法

利用組合等⇒都道府県団体⇒酪農ヘルパー全国協会

- \*ご加入方法ほか詳細は当協会ホームページの利用組合向け情報でご確認ください。
- \*この保険制度は、酪農ヘルパー要員の確保育成による酪農生産基盤強化の一環として、臨時酪農ヘルパー出役中の事故の補償を目的に運用されています。

## リーフレットを無料で配布します!!

全国協会では「酪農ヘルパー」の職業認知度向上のため、リーフレット・チラシをご用意しています。全国協会までご連絡をいただければ少ない部数でも送付いたしますので、ぜひ各種イベントの際にご活用ください。



リーフレット



チラシ

酪農ヘルパー情報（令和8年3月発行）

## 一般社団法人 酪農ヘルパー全国協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1丁目37番2号 酪農会館6階

TEL. 03-5577-5135

URL : <https://d-helper.lin.gr.jp>

FAX. 03-5577-5136

E-mail : [info@d-helper.lin.gr.jp](mailto:info@d-helper.lin.gr.jp)



(ホームページ)